
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第 59 号(2019. 2. 26)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 59 号をお届けします。

今回の活動組織の活動紹介では、地域ぐるみで農道の路面舗装やパイプラインの漏水箇所の補修などに取り組む組織と、遊休農地化の恐れがあった農地にあじさいを植栽することで観光客の増加につなげている組織を紹介します。

事務局からは、「地域の女性の活躍の場を広げるために」と「連載：ロゴマークの活用事例」についてお知らせします。ロゴマークの活用事例では、全国で多面的機能支払ロゴマークがどのように活用されているのかを紹介していきます。

---第 59 号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

☆真穴^{まあな}多面的活動組織（愛媛県^{やわたはま}八幡浜市）☆

☆糸我^{いとが}地域資源保全グループ（和歌山県^{ありだ}有田市）☆

2. 地域の女性の活躍の場を広げるために

3. ロゴマークの活用事例～シリーズ1：のぼり旗～

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介 (1)

～^まあ^な真穴多面的活動組織(愛媛県^{やわたはま}八幡浜市)～■

～地区概要～

愛媛県西部の専業農家が約8割を超える柑橘栽培地帯を拠点に活動。基幹作物である温州みかんは「 (まるま) みかん」としてブランドを確立。

活動範囲は、畑 266ha、対象施設は、水路 59km、農道 12km、ため池 1箇所。

～主な取組～

- ◎ 本組織は、担い手への負担軽減や集落機能の維持、地域ブランドの維持・継承を図ることを目的に、平成27年度から本交付金の活動を開始しました。
- ◎ 本地区では、農道やパイプライン等の農業用施設の老朽化から、みかんの運搬時の荷傷みやパイプラインからの漏水等の農作業上の問題が生じていました。そのため、年間40回以上施設の点検や修繕等を実施し、農道の路面舗装やパイプラインの漏水箇所の補修を行っています。修繕箇所を人力で見つける必要があるため、1箇所直すだけでも時間がかかりますが、農業継続のためには欠かせない取組となっています。
- ◎ また、活動に伴う事故等のリスク管理にも積極的に取り組んでいます。遊休農地の発生防止に向けた活動で行うチェーンソーを用いた雑木の伐採に当たっては、事前に森林組合の職員を講師に招いて、正しいチェーンソーの使い方を学ぶ講習会を実施しました。
- ◎ 今後も、地域が抱える課題の解消に向けた活動に地域ぐるみで取り組んでいきたいと思っています。



農道の路面舗装



パイプラインの補修



チェーンソーの講習会

■ 1. 活動組織の活動紹介 (2)

～^{いとが}系我^{ありだ}地域資源保全グループ(和歌山県有田市)～■

～地区概要～

和歌山県中部の有田市の東側に位置し、みかん畑や水田が多く残る系我町を拠点に活動。

活動範囲は、田 9ha、畑 22ha、対象施設は、水路 11.1km、ため池 1 箇所。

～主な取組～

- ◎ 本組織では、地域全体の活性化に向けて、町内西部にある別名「あじさい寺」とも呼ばれる^{にんぺいじ}仁平寺周辺の遊休化の恐れがあった農地にあじさいの植栽を行っています。
- ◎ 土壌の酸性度によって色が変わる特性を持つあじさいは、仁平寺の周辺の農地の土壌ではすべて白色になります。そこで本組織では、土壌の酸性度を調整した鉢植えであじさいを咲かせて、それを農地に戻し、あじさいの色のバランスを調整するという工夫を行っています。これにより仁平寺周辺は色とりどりのあじさいで彩られています。
- ◎ 最近では、県外からのツアーにも組み入れられ、多くの観光客が訪れるようになったため、観光客向けに道順を示した標識を設置するなどの取組も行っています。この看板は本組織が作成しており、設置位置によって矢印の向きが変えられるように工夫しています。
- ◎ 今後も、これらの活動を通じて地域住民のコミュニケーションの輪を広げていき、楽しく気軽に参加できる活動の場を設けることで、「住みやすい」「また来たい」と思える地域づくりを推進します。



仁平寺周辺の遊休化のおそれがあった農地へのあじさいの植栽



植栽したあじさいと観光客



道順を示した標識の設置

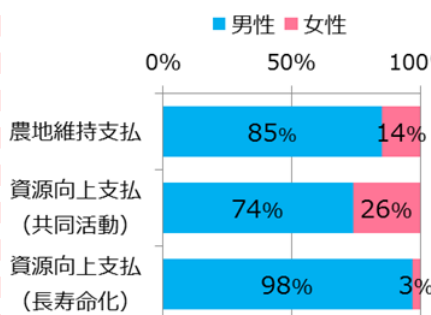
■2. 地域の女性の活躍の場を広げるために ■

多面的機能支払では更なる活動の活性化に向けて、地域資源の保全管理の取組を女性の活躍の場とするように推進しているところです。本記事では、その一助となるように、多面的機能支払における女性参加の現状や女性活躍の事例を紹介します。

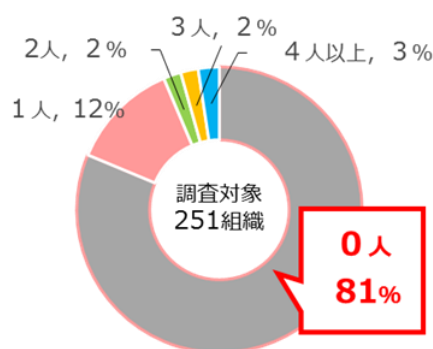
多面的機能支払における女性参加の現状

構成員としての女性の参加は一定程度みられるものの、**役員や代表としての女性の参加は進んでいない**のが現状です。

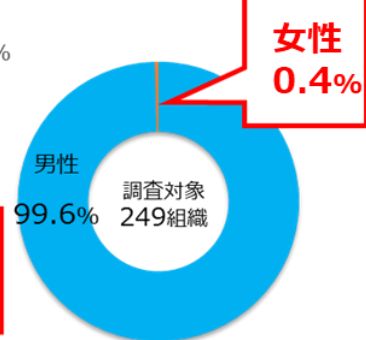
活動組織の構成員



女性役員の人数



組織の代表の性別



女性の活躍の場を広げるために

多面的機能支払は、地域資源の保全管理の取組を女性の活躍の場にするにより、取組に進化をもたらすため、**3つの取組を推進**します。

1. 活動組織・広域活動組織の**女性役員を2名以上**とすること
2. リーダー育成等の**研修への女性の参加を促進させる**とともに、**女性リーダーのネットワーク化を推進**すること
3. 女性の活躍により活動が進化している**事例を紹介**すること

政府目標：様々な形で農山漁村において地域を引率していく女性リーダーを育成

(第4次男女共同参画基本計画(平成27年12月25日決定))

女性が中心となって活躍している活動事例

遊休農地を活用した体験学習

(多気町勢和地域資源保全会・活用協議会(三重県多気町))

女性が中心となって、小学校・図書館・地域が連携し、**遊休農地を活用した体験学習**を企画しています。

子どもたちは、地域の歴史のかんがい用水を題材とした郷土史学習や、大豆等の栽培から収穫、加工、伝統食づくりまでを体験し、**農業の大切さを学習**しています。



大豆畑の草取り



大豆を使った豆腐やきな粉、みそ作り

女性を中心とした景観形成活動

(美浜町広域協定～風和里会～(福井県美浜町))

コスモスの植栽や水路への竹プランターの設置等の景観形成活動に多くの女性が積極的に参加しています。様々な目線で取組を評価・改善するために、**役員会には女性も必ず参加**するなど、より良い地域となるよう柔軟な活動を実践しています。



竹プランターの製作状況



役員会には女性が2名以上参加

■3. ロゴマークの活用事例 ～シリーズ1: のぼり旗～ ■

多面的機能支払ロゴマークについて



農林水産省では、「多面的機能支払交付金」の活動や意義について関心を高め、活動の輪を広げることを目的として、ロゴマークを作成しました。

本記事では、全国各地でロゴマークがどのように使われているのかを知ってもらうことで、より多くの組織にロゴマークを活用してもらいたいと考えています。今回は、のぼり旗に用いた活用事例を紹介します。

●王寺川農地・水・環境保全広域協定(新潟県長岡市)

組織の概要

新潟県の中部に位置する長岡市を拠点に活動する広域活動組織です。活動範囲は、田 278ha、畑 1.5ha。対象施設は、農道 34km、水路 79km。

ロゴマークの活用方法

農村環境保全活動ののぼり旗と横断幕を作成する際にロゴマークを使用しました。のぼり旗は地域の清掃活動を行う際に使用し、横断幕は稲刈りと文化交流会を行う際に使用しています。



のぼり旗を掲げて清掃活動を行う様子



横断幕を張って稲刈りを行う様子

今後の展望

今後は、草刈りなど基礎的保全活動を行う際にも、農道にのぼり旗を設置して活動しようと考えています。

●全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会

「 ロゴマークの活用方法

ロゴマークを記載したのぼり旗を作成し、市町村や活動組織に貸し出しを行っています。多面的機能支払交付金の事業紹介やイベントを実施する際に、のぼり旗を立てることで多面的機能支払交付金の啓発に努めています。



のぼり旗



「農地・水・環境のつどい@愛知県」において



えひめまつやま産業まつりに参加した際のパネル展において

「 今後の展望

今後も、引き続き、各種イベントでの掲示や活動組織等への貸し出しを積極的に行っていきます。

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■編集後記■

先日、新潟県に研修で行って来ました。その中で、多面的機能支払の活動に取り組んでいる農家の方のお話を伺う機会に恵まれました。高齢化によって草刈りや泥上げが困難となる集落がある中でも、他集落の人たちが助け合うことで集落間の結びつきが強くなっていることが窺えました。

また、その集落の方達が廃校になった小学校の校舎を利用して農家レストランを開いていたので、昼食をいただきました。集落の住民向けに開いているとのことで、看板や案内は何もなかったのですが、中に入ると集落の方達で賑わっていました。昔教室だった場所で机を向かい合わせにして、地元の食材で作られた料理が豊富に入っているお弁当をいただきました。お弁当のおかずはどれも美味しくて、ご飯のおかわりが止まりませんでした。お弁当をいただいた後、手作りそばも出しているとのことだったので、ざるそばも美味しくいただきました。

この集落にはわずかな時間しか滞在できませんでしたが、普段では決して味わうことのできない、そこにしかない生活の一瞬に触れることができ、貴重な経験となりました。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_sihara_i/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！



◇平成30年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どうぞ活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、大木）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
